

基礎から学ぶ学習評価法

担当: 佐藤慶太(香川大学大学教育基盤センター)

内容

1. 学習評価の目的
2. 学習支援のための学習評価
3. 学習評価の基本
4. さまざまな評価方法
5. アクティブラーニングの評価
6. ルーブリックを作ってみよう

到達目標

1. 学習評価の学習支援機能について説明することができる。
2. 学習目標に応じた評価方法を選択することができる。
3. 代表的な評価方法の特徴について説明することができる。

1. 学習評価の目的

グループワーク課題:
なぜ学習の評価をするのでしょうか?  
(学習評価の目的・意義とはなんなのでしょうか?)

* 学習評価

ここでは「教育についての評価」(教育評価)と区別される「学生による学習についての評価」のこととします(松下・石井 2016)。

1. 学習評価の目的



ラウンド・ロビン

- ①教員が、問題を設定する。ワークの制限時間も提示。
- ②グループ内で、記録係を決める。
- ③グループの中で時計回りに、教員が投げかけた問題について、一人ずつ意見を述べる。
注意) 質問したり、コメントを加えることはできません。
記録担当のみ、確認のため質問ができます。
- ④制限時間(3分)がきたら、記録係がグループの意見を(教員に向かってではなく) 全体に向かって発表する。

2. 学習評価の目的



ラウンドロビンについて

- ・多くのアイデアを出せる
- ・メンバーが平等に参加できる
- ・アイデアを妨げたり、抑える発言を禁止しているので、自由な発言が促される。

1. 学習評価の目的



- ・学生のため→学習支援
- ・教員のため→授業改善
- ・管理運営のため→カリキュラム改善

2. 学習支援のための学習評価



2. 学習支援のための学習評価



学習評価が学生の向上に資するものであるためには、すくなくとも次の三点が必要。

- ・一貫した原則に基づいていること
- ・明確かつ公正であること
- ・学生を励ますものであること

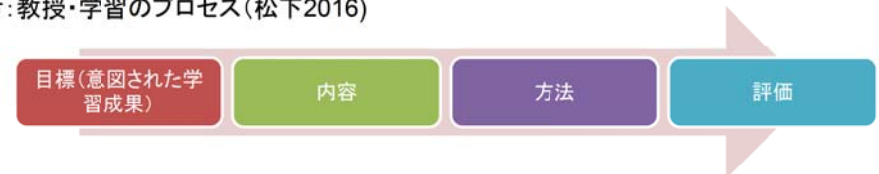
3. 学習評価の基本



(1) 何を評価するのか

- ・評価は授業の到達目標に応じて下される。
- ・学習評価の項目は学生の到達目標と対応させるとよい。
- ・知識領域、態度領域、技能領域のそれぞれを測定するのに適した方法を用いる。

参考: 教授・学習のプロセス(松下2016)



3. 学習評価の基本



事例(到達目標と評価手法の対応): 香川大学全学共通科目「哲学A」

☑ 授業の到達目標

- ① 授業で扱う哲学者の学説について説明することができる。
- ② 授業で扱う哲学者が用いる主要な概念について説明することができる。
- ③ 哲学の問題について、根拠づけのしっかりとした主張をすることができる。
- ④ 文章を通じて、自分の主張を分かりやすく相手に伝えることができる。

☑ 評価方法

以下の2つの項目での評点合計が60ポイント以上の学生を評価対象にします。

- ・ミニレポート(40ポイント)
授業時間内書いてもらうもの。【上記③、④に対応。】
- ・期末試験(60ポイント)
授業で取り扱った内容についての理解度を問うもの。【上記①、②に対応。】

3. 学習評価の基本



(2) いつ評価するのか

授業(学期)開始時



診断的評価(diagnostic evaluation)
- 学習の前提となる知識等の把握

授業(学期)途中



形成的評価(formative evaluation)
- 学習の到達度をチェックし、その結果によって授業のやり方を調整する

授業(学期)終了時



総括的評価(summative evaluation)
- 最終的に到達目標が達成されたか

3. 学習評価の基本



香川大学

診断的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

①ファースト・デイ・ファイナル (First Day Final)

学期はじめに、期末テストと似ているテストを行う。ただし点数はつけない。終了後、一番難しかったもの、一番簡単だったものを特定してもらう。

学期末で、実際に点数をつけるテストを行い、学期はじめに受けたテストと比較させる。このことによって、最初から到達目標を意識させることができるし、期末テスト時には、学期中に身についたものを確認させることができる。

3. 学習評価の基本



香川大学

診断的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

③学習目標リスト (Learning Goal Listing)

学期のはじめに、この授業に関する個人的な目標を立てさせる。あわせて、その目標がシラバスに記載されている到達目標とマッチしているかも、確認させる。このことによって、学生は自分の目標、そのための戦略を意識することができるし、授業の目標そのものに目を向けることもできる。

3. 学習評価の基本



香川大学

診断的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

②予備知識調査 (Background Knowledge Probe)

学期の開始時、あるいは新しいセクションに入る前に、学生の基礎知識や準備状況を確認するための簡単なテストを行う。教員が受講生のレベルを確認することができるし、学生に、これからの学びに必要な知識を活性化させるという点でも効果がある。

3. 学習評価の基本



香川大学

形成的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

①クイック・ライト (Quick Write)

短時間で答えられる自由回答形式の質問を用意して、学生の理解度を確認する。当該単元のキーワードを自分の言葉で説明させる、当該単元に関連する主張をならべて適切なものを選ばせ、その理由を書かせる、など。単純に、印象に残ったことや、わからなかった点を書かせることも、振り返りの促し、理解度の確認として有効。

3. 学習評価の基本



形成的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

②ベスト・サマリー (Best Summary)

ひとつの単元がおわったところで、各自に授業のポイントをまとめさせる。その後、グループでそれぞれのまとめを比較させ、グループ内でもっともすぐれたまとめを選ばせる。いろいろな観点からのまとめを見せられるし、他の学生と学習状況をシェアすることで、学習意欲を刺激することができる。教員の負担が少ないのも魅力。

3. 学習評価の基本



形成的評価の技法例 (cf. Barkley&Major 2016)

③入室カード、退室カード (Entry and Exit Tickets)

小さめの用紙 (インデックスカードなど) を使う。宿題として課した読み物について質問を用意し、授業のはじめに答えを記入させる (入室カード)。または、授業の終わりに、ポイントとなる事項に関する質問を用意し、答えを記入させる (退室カード)。宿題の習慣づけ、授業の振り返りを促すことができる。

4. さまざまな評価方法



グループワーク課題:

どのような学習評価方法を使用していますか？
それらの評価方法で、何を測定しようとしていますか？

配布した用紙の枠を埋めてみてください。



4. さまざまな評価方法



シンク・ペア・シェア (Think-pair-share)

①用紙に記入をしてください (5分間)

* 最低一つの授業について記入してください。

②ペアでお互いの考えを共有 (3分間)

* となり同士でペアになってください。

③グループ全体でアイデアを共有 (5分間)

* ペアのうちどちらかが発表を担当してください。

4. さまざまな評価方法



香川大学

シンク・ペア・シェアについて

- ・Thinkの意義: 自分で考える時間をもつことで、パフォーマンスが向上する
- ・Pair, Shareの意義: 徐々にハードルを上げることで、学生の不安感を軽減する

4. さまざまな評価方法



香川大学

評価方法		測定するもの
論述試験	文章記述による試験	知識・理解・問題解決能力
口頭試験	面接による試験	知識・理解・問題解決能力
選択式試験	○×式、多肢選択式	知識・理解
シミュレーション	実際の場면을想定して行動させる	問題解決能力
実地試験	実際の場面で行動させる	問題解決能力・技能・態度 習慣、創造力、応用力
観察記録法	授業中の態度・行動を観察	態度・習慣・技能・表現力 応用力
論文・レポート	テーマに沿った論述	知識・解析力・叙述力・文 献調査力・創造力

☆学習目的に応じた評価方法を選択しましょう。

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

アクティブラーニングにおける主な学習評価方法

パフォーマンス評価

学習者のパフォーマンス(作品や実演)を手がかりに、パフォーマンスの基礎になっている知識や技能を評価する。

Ex.)シミュレーション、観察記録法、実地試験、論文・レポート

ポートフォリオ評価

まとめて保存された学習の証拠資料に基づいて学習者の成長のプロセスを評価する。

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

ポートフォリオ評価について

ポートフォリオとは・・・

「紙挟み」、「書類カバン」等の訳語があるが、教育用語では、学生の学習成果やさまざまな評価記録を収集したもの、または収集されたものを入れる容器(ファイル、箱など)を意味する。



5. アクティブラーニングの評価



香川大学

ポートフォリオには何を入れるのか？

例1) 論文執筆

- ・メモ、下書き、草稿
- ・新聞雑誌の切り抜き、コピー
- ・本・論文の要旨
- ・収集した文献のリスト
- ・インタビューの記録
- ・自己評価の記録
- ・クラスメイト、教員による評価の記録

例2) 15回完結の講義

- ・授業で配布されたプリント
- ・授業中に作成したノート
- ・予習課題の成果物
- ・授業中に与えられた記述問題の解答
- ・授業に対する感想・質問
- ・教員からのレスポンス
- ・中間段階での自己評価の記録
- ・講義期間中に読んだ文献目録
- ・最終レポート執筆のための材料
- ・最終レポート

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

ポートフォリオ評価の利点

- ・学びの成果だけでなく、そこに至るプロセスを評価の対象とすることができる。
- ・学習者自身が、自分の学びの過程を反省できる。
- ・教員は、学生がどのような関心を持ち、どのような学び方を好むか、そして作業過程でどんな疑問をもつのかを知ることができる。

5. アクティブラーニングの評価



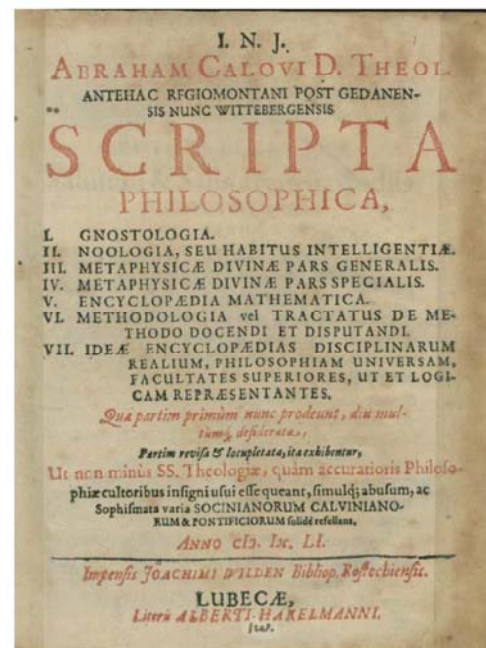
香川大学

ルーブリック評価: ある課題をいくつかの構成要素に分け、その要素ごとに評価基準を満たすレベルについて詳細に説明したもの。パフォーマンスやポートフォリオを客観的に評価するために有効な方法とされている。

評価の観点

評価の観点	評価のレベル			点
	A (3点)	B (1点)	C (0点)	
①主張のその根拠	主張が明確であり、その主張を導くために十分な根拠が示されている。	主張は明確であるが、論証が不十分である。または、根拠が示されているが、主張が不明確である。	主張が不明確であり、論証も不十分である。	
②構成	形式的にも、内容的にも、序論・本論・結論の明確な構造がある。	形式面、内容面のどちらかで、序論・本論・結論の構造がはっきりしないところがある。	形式面、内容面のどちらにおいても、序論・本論・結論の構造がはっきりしない。	
③資料収集	資料収集が十分になされている。(引用されている文献が1以上)	資料収集が十分になされていない。(引用されている文献が1~2つ)	資料収集が全くなされていない。	

それぞれの段階における典型的な状態を説明する記述



ルーブリック rubric > 羅 rubrica: もともとは色を付けるための赤土、赤チョーク、法律の名称(赤で書かれていたため)、昔の写本や印刷物において、他の部分と区別するために赤く色づけされた部分。(a)具体的には、表題ページ、またはその一部。特に出版年、出版地が書かれている部分、あるいは赤く書かれた最初の部分。(b)[法律]法律の名称、古くは赤字で書かれたのでそう呼ばれる。(c)[典礼]古くは朱書きや赤刷りした礼拝の手順に関する指示や規則、教会や主教の指示。(ウェブスター大辞典、1913)

[教育用語]ある課題をいくつかの構成要素に分け、その要素ごとに評価基準を満たすレベルについて詳細に説明したもの。

実演課題の評価におけるルーブリック利用

OSCE (Objective Structured Clinical Examination: 客観的臨床能力試験)

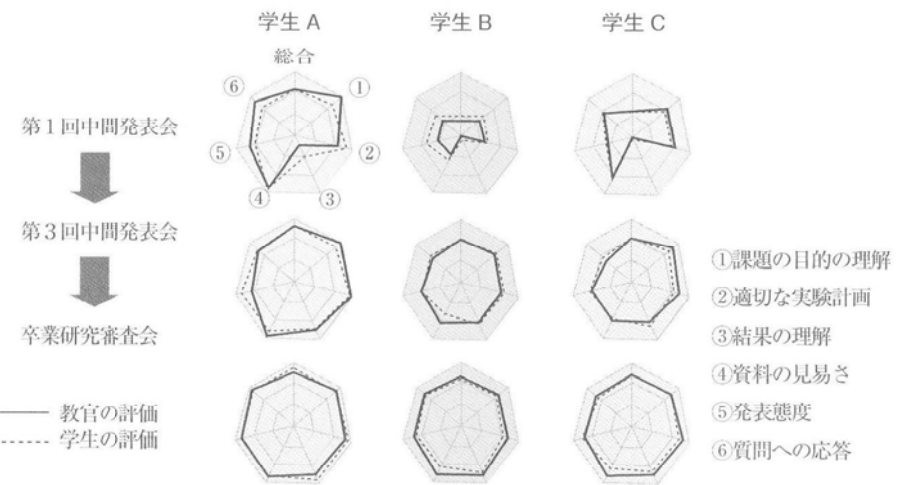
評価者

学生

模擬患者



プレゼンテーション評価でのルーブリック利用



徳島大学工学部卒業研究プレゼンテーション評価(松下2010)

課題：授業でとりあげた生命倫理学の問題の中から一つを選び、その是非について論じなさい。どのように論じても構わないが、自分の主張と根拠をはっきりさせること。また、論を展開する中で、資料を3つ以上用いること（書籍、新聞記事、ウェブサイトの情報など）。引用の仕方、参考文献の示し方は、授業で例示したものに基づくこと。

評価の観点	評価のレベル			点
	A (3点)	B (1点)	C (0点)	
①主張とその根拠	主張が明確であり、その主張を導くために十分な根拠が示されている。	主張は明確であるが、論証が不十分である。または、根拠が示されているが、主張が不明確である。	主張が不明確であり、論証も不十分である。	3
②構成	形式的にも、内容的にも、序論・本論・結論等の明確な構造がある。	形式面、内容面のどちらかで、序論・本論・結論の構造がはっきりしないところがある。	形式面、内容面のどちらにおいても、序論・本論・結論の構造がはっきりしない。	3
③資料収集	資料収集が十分になされている。（引用されている文献が3つ以上）	資料収集が十分になされていない。（引用されている文献が1～2つ）	資料収集が全くなされていない。	1
④書式	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が守られている。	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が守られていないところがある。	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が全く守られていない。	3
⑤引用	全ての部分で、引用の仕方が適切である。	部分的に、引用の仕方が不適切なところがある。	全てのところで、引用の仕方が不適切である。あるいは、引用をしていない。	1
⑥参考文献	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されている。	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されていないところがある。	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されていない。あるいは、参考文献の情報を示していない。	0
⑦適切な言葉の選択	論文に不適切な言葉遣いがない。	論文に不適切な言葉遣いをしているところがある。	論文に不適切な言葉遣いをしているところが多くある。	1
⑧誤字・脱字	誤字・脱字がない。	誤字・脱字が少しある。	誤字・脱字が多くある。	3
コメント				15

【課題】

<患者氏名> () さん
22歳 女性・男性 現在、大学4年生
<疾患名> 右大腿切断
(約2ヶ月前の交通事故によるもの)
ここは、病院のリハビリテーション室です。
あなたは先週から臨床実習に來ている学生です。
臨床実習指導者の指示によりこの患者さんに医療面接を指示されました。
面接では、患者さんの心配している事柄について話すことが課題です。

※制限時間は6分間です。

【一部省略】

【評価表】

医療面接	良: 1 悪: 0	
視線を合わせて話ができただか	☐	☐
適切な顔の向きであったか	☐	☐
適切な声の大きさ・スピード・音調であったか	☐	☐
ていねいな言葉使いであったか	☐	☐
話を途中で遮らなかったか	☐	☐
理解しやすい用語で話ができただか	☐	☐
質問の組み立てはよかったか	☐	☐

藍野大学OSCE評価表(松下2010)

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

ポートフォリオ評価でのルーブリックの利用

集めたものを「単なる資料のファイリング」にしないために、次のような評価基準の設定が有効。

(例: 論文執筆の場合)

	3	2	1	0
資料に基づく結論の導出	資料に基づいて結論を導いており、その結論を証明する証拠もあげている。	資料に基づいて結論を導いているが、その結論を証明するものを挙げていない。	資料に基づいていない結論を導いた。	結論を導けない

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

ルーブリック評価の利点

- ・学生自身が、どの程度まで努力すればどのような評価がもらえるか、行動指針が明確になっている。
- ・学生が自らの学習活動を評価できる。
- ・評価の幅が広がり、現実の学習場面に即した評価を行いながらも、ある程度の客観性が確保できる。
- ・異なる人が評価しても、同じ結果が得られる。
- ・教員による評価と学生による評価が比較検討できる。

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

平等な学習環境づくり

ここでは、マイノリティ第一世代〔家庭内で初めて大学に進学するような学生〕の多くが、学問の世界で使われているような英語は話せない、という事実に触れておきたい。かつて多くの学生は、大学で教育を受けた家庭の出身であり、そこでは学術英語が使われていた。…しかし、今は教員が日常的に学問的な会話で使っている用語が、外国語もしくは風変わりな方言にしか聞こえないような学生と、いかにコミュニケーションをとるかを、教員は学ばなければならない。ルーブリックは、この状況において見事な翻訳機として機能する。教員が何を話しているのかをこうした学生が理解するのに役立つだけでなく、いつ、どの部分で教員の用語が理解されていないか、知る手助けになる。(つづく)

5. アクティブラーニングの評価



香川大学

(つづき)例えば論文について議論する中で「序論(introduction)」と「結論(conclusion)」は「最初(beginning)」と「最後(end)」と同じ意味であると考え、「批判的思考(critical thinking)」は何かを否定することだと考えている学生が多くいることに、教員は驚く。

…なんといっても、第一世代の学生は、教育とは具体的な知識を吸収することであると考えがちである。ルーブリックを正しく使えば、批判的思考、討論、主観と客観といった、その学生にとっては新しい概念だが、教員にとっては当たり前の学術用語を教えることができ、教育を受けることの理解を正しいものにすることができる。

スティーブンスほか『大学教員のためのルーブリック評価入門』(佐藤が一部改変)

5. アクティブラーニングの評価

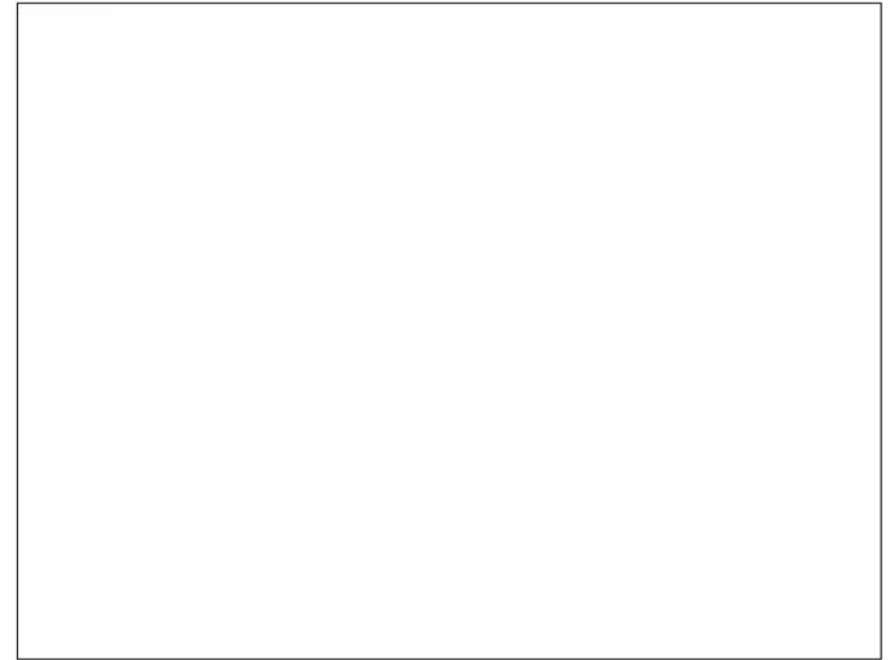


香川大学

グループワーク評価での活用 ―ピア評価

ピア評価とは・・・

仲間(ピア)同士の評価のこと。グループワーク内での個人の活動を評価する際に有効であると言われている。



6. ルーブリックを作ってみよう



香川大学

- ・ご自身の授業で学生に取り組ませている課題をひとつ想定して、ルーブリック評価表を作成してみてください。
- ・配布したフォーマットを使用してください。
(「コメント」は、教員が学生に対して伝えたいことを書く欄です。作成時に何かを書き込む必要はありません。)
- ・ルーブリックづくりのイメージをつかむためのワークですので、完成までいなくてもけっこうです。

6. ルーブリックを作ってみよう



香川大学

ルーブリックの作成法

- ①振り返り: 課題設定の意図、学生に期待すること、次のステップ／前のステップの課題との関係などを振り返る
- ②リストの作成: 課題の具体的内容、課題が完成した時にできるようになってほしいことを明確化する
- ③これまでの作業(①、②)の結果をまとめる。課題で期待する事項をグループ化する。その後、グループに見出しをつける。
- ④表の作成: まず「模範的」な行動について記述し、その次に、最も低い水準の行動を記述するのが簡単、といわれている。

6. ルーブリックを作ってみよう



香川大学

表の作成におけるポイント

- 説明が長すぎず、現実的であるかどうか。
- 学習内容に対して適切であるかどうか。
- (量的な基準など)具体的なレベルの違いを示しているか。

* 中間段階を設定しにくい場合は、1つの項目に二つの要素を盛り込み、どちらも×、どちらかは○、両方○、という三段階を設定するとやりやすいです。

6. ルーブリックを作ってみよう



香川大学

ルーブリック評価に関して指摘されている問題

- ・パフォーマンスという「全体」を、評価項目という「部分」に還元できるか？
- ・事前を示された基準によって評価すること自体が学生の「主体性」や「自律」といったものを奪っているのかもしれない。

参考: 成瀬尚志ブログ <http://ihuru09.jp/archives/275>

参考文献



香川大学

- 池田輝政ほか(2000)『成長するティップス先生』(玉川大学出版部)
- 松下佳代(2007)『パフォーマンス評価』(日本標準)
- 田中耕治(2008)『教育評価』(岩波書店)
- 佐藤浩章編(2010)『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部)
- 田中耕治(2010)『新しい「評価のあり方」を拓く』(日本標準)
- 松下佳代(2010)「新しい評価のパラダイム」: 河合塾編『初年次教育でなぜ学生が成長するのか』(東信堂)所収
- 串本剛・小笠原正明(2013)「アクティブ・ラーニングー学習成果を意識した教育方法の变革」濱名篤ほか編『大学改革を成功に導くキーワード30ー「大学冬の時代」を生き抜くために』学事出版。
- 溝上慎一(2014)『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂。
- スティーブンスほか(2014)『大学教員のためのルーブリック評価入門』(玉川大学出版部)
- 松下佳代(2016)「アクティブラーニングをどう評価するか」松下佳代・石井英真編『アクティブラーニングの評価』(東信堂)所収
- E.F.Barkley, C.H. Major(2016) *Learning Assessment Techniques*, Jossey-Bass
- 成瀬尚志ブログ <http://ihuru09.jp/archives/275>

積極的に取り組んでくださりどうもありがとうございました。
不明な点等あれば、メールでお問い合わせください。

stk@cc.kagawa-u.ac.jp
香川大学 大学教育基盤センター
佐藤慶太